

第10回外務省政策会議

(概要記録)

日時：12月17日(木) 15:50～16:50

場所：衆議院第1議員会館 第3会議室

出席議員の概数：約6名

議題：中東・アフリカ大使との懇談

1. 外務省政務三役からの挨拶

武正副大臣、吉良政務官、西村政務官が出席。冒頭、武正副大臣より挨拶。

2. 中東アフリカ大使からの情勢報告

別添の資料に基づいて、遠藤駐サウジアラビア大使(アラブ湾岸産油国情勢)、廣木駐アフガニスタン大使(アフガニスタン情勢)、植澤駐ナイジェリア大使(アフリカ情勢(開発と成長の視点から))、駒野駐エチオピア大使(アフリカ情勢(平和と安定の視点から))から説明。

3. その他の情勢説明

出席議員の照会に対し、以下を説明()内は外務省側からの回答)。

- (1) サウジアラビアのイエメンに対する軍事介入の経緯と現状(イエメン北部における武装勢力の反乱に対し、サウジアラビア政府がイエメン政府を支援)
- (2) タリバーンの現状を踏まえた我が国のアフガニスタン支援の方針(アフガニスタンの再統合、タリバーンとの和解を主体的に進めようとしている二期目のカルザイ政権を我が国は支援)
- (3) ケニア情勢と我が国の医療協力(07年末の大統領選挙後に混乱が発生したが、昨年4月に与野党連立政権が発足し、再出発。保健・医療分野の協力は人間の安全保障の観点から重要視)

(4) ソマリア情勢 (国際社会は、暫定連邦「政府」による和平努力を支援しているが、出口は見えていない)

(5) 中国の中東・アフリカ進出状況 (中国の貿易・投資、援助、要人訪問は非常に活発で存在感を増しつつある)

(了)